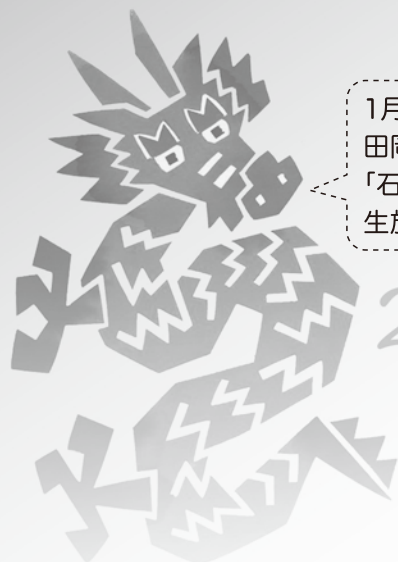


# 広告



1月4日(水)16:30～、  
田岡市長の年頭あいさつを  
「石狩市 市民生活便利帖(動画版)」で  
生放送予定です!



2012

# 未来へ向けた 発展の礎を築くために

市民の皆さまにおかれましては、平素より市政の各分野にわたり、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月に発生した東日本大震災は、未曾有の被害をもたらしました。本市においても、皆さまのご尽力を賜り、被災地ならびに被災者への支援を行うことができましたことに、心より感謝の意を表しますとともに、引き続き基礎自治体としてできうる限りの支援を行いますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本経済は逼迫した状態が続いている中、政府はTPP交渉参加の表明を行い、北海道では特に第1次産業への影響が懸念されているところであります。

さて本年は、現在建設中の北海道ガスLNG基地の供用が開始されます。昨年、立地表明されたLNG火力発電所と自然再生可能エネルギーとのベストミックスにより、将来に向けた効率的なエネ

ルギーの活用方策の検討を進めてまいります。

石狩湾新港地域の工業団地は、昨年開業した国内最大級の環境配慮型データセンターや物流センター等の立地により一層活気に満ちております。石狩湾新港は、日本海側拠点港として貢献すべく、道央圏の経済を支え、太平洋側港湾の代替機能の確立を推し進めてまいります。

また、先進的な学習を行う情報通信技術(ICT)を活用した「フューチャースクール」の推進や、外国語指導助手(AIT)の配置など、未来の石狩を担う子どもたちに、確かな学力を育む教育を進めるほか、学校の耐震化の推進など、子どもたちが学ぶ環境の充実を図ってまいります。

さらに今年には「財政ガイドライン」「第5期介護保険事業計画」の初年となり、「第4期石狩市総合計画」の後期戦略計画と併せて、新しい石狩のスタートを切る喜びと同時に、将来の石狩の礎を築

いていかねばならないという重責に身震いする思いであります。

震災等の影響から、再生に向けて立ち上がろうとしている日本は、新たな国土計画を作成して前進しなければなりません。石狩の明るい未来へ向けた発展の礎を築くために、質的变化に柔軟に対応しながら、子どもたちを愛しみ、安心安全な生活を営むことができ、未来へ向けた発展力となる産財を有する誇りを持つるまちとして、これからも市民の皆さまと協働して健全な市政運営に取り組んでまいり所存であります。

結びに、新春の門出に当たり、市民皆さまのご多幸とご健康を祈念いたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

平成24年 新春

石狩市長 田岡 克彦

